

【概況】 8 月 8 日に行いましたプランクトン調査(播磨灘)の結果についてお知らせします。
 ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ・オバータ、カレニア・ミキモイが確認されました。
 ・屋島湾奥部ではカレニア・ミキモイの着色域(最高 4,400 細胞/mL)が広範囲に見られましたので今後の情報にご注意ください(本事業の調査定点外の海域です)。

表：2022 年 8 月 8 日 有害プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリナー	シャットネラ・オバータ	シャットネラ 3 種合計値	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
虻崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
千振	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
妙見	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	0	0	0	0	0.3	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	2.7	0	0	0
	10	0	0	0.3	0.3	0.3	0	0	0
観音崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	3.0	0	0	0

* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています(ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です)。

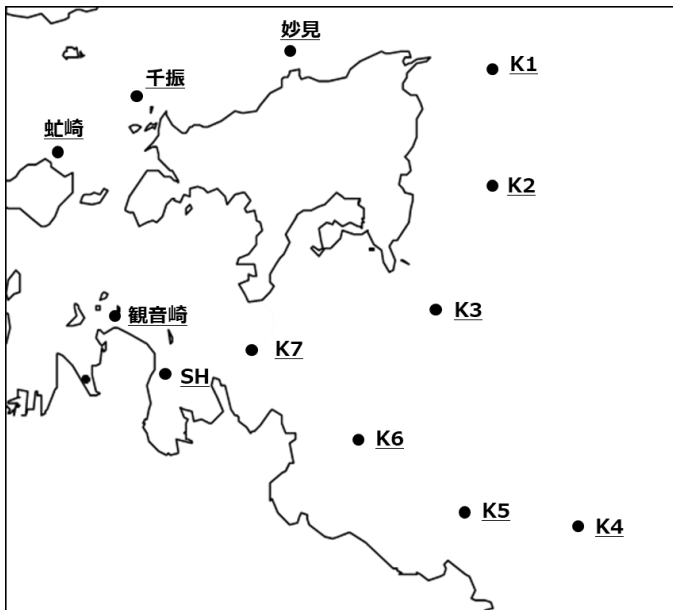
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は 7 定点(K1~7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合には、5 定点(虹崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL